



Motorcycle Federation of Japan
FIM/FIM ASIA affiliated federation



平成30年3月1日

MFJ公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

技術委員会

2018 国内競技規則書 技術規則の解釈について

2018年度 国内競技規則書 付則11 J P 2 5 0 技術仕様およびクローズドブリーザーシステムのオイルブリーザーラインの解釈について下記のとおりとする。

1. JP250 技術仕様 7-3-23 : スプロケット／チェーンの解釈について

7-3-23 スプロケット／チェーン

フロント（ドライブ）スプロケット、リヤ（ドリブン）スプロケット、チェーンの変更は許可されるが、公認車両と同サイズのものに限定される。

解釈：

規則の中にある「同じサイズ」とは、

チェーンサイズ（例えば520サイズなどを言う）を各公認車両と同等サイズに限定するものであり、スプロケットの材質と丁数（歯数）およびドライブチェーンのリンク数と仕様については変更が認められます。

尚、J P 2 5 0 クラス対象公認車両については、すべてチェーンサイズが520サイズとなっています。（2018年2月末時点）

2. クローズドブリーザーシステムのオイルブリーザーラインについて

該当規則 : J-GP2/7-14-7 : オイルキャッチタンクとブリーザーシステム、J SB/7-28-3-2 : クローズドブリーザーシステム
ST600/7-2-4-2 : クローズドブリーザーシステム、付則11 J P 2 5 0 /7-2-4-2 : クローズドブリーザーシステム

オイルブリーザーラインが公認車両のチューブ（ホース）をそのまま使用し、接続方法も公認車両の状態が維持された場合は、エアクリーナーボックス単体のオイルキャッチ容量にかかわらず、オイルキャッチタンクの装備は免除される。

解釈：

公認車両のチューブ（ホース）をそのまま使用し、接続方法も公認車両の状態が維持された場合とは、チューブ固定用のクランプも含めており、公認車両のものをそのまま使用すれば、クリップタイプまたは締め付けバンドタイプのクランプが許可されます。但しチューブを変更した、もしくは接続方法を変更した場合は、クランプには締め付けバンドタイプを使用ししっかりチューブを固定して下さい。